

小ギク電照栽培での開花揃いが優れる8月作型品種			
[要約] 8月作型において、「精ちぐさ」、「精そよかぜ」、「すばる」の3品種は電照栽培時の開花揃いが優れる。また、「精ちぐさ」、「精そよかぜ」は消灯後の日長の影響が少なく、開花調節しやすい。			
茨城県農業総合センター園芸研究所	令和4年度	成果区分	技術情報

1. 背景・ねらい

小ギク経営では、特定の作業・時期における労力の集中が生産面積拡大の妨げになっていることから、機械化に適した栽培体系を確立する。ここでは一斉収穫に向く、電照栽培時の開花斉一性が優れる8月作型向け品種を明らかにする。

2. 成果の内容・特徴

1) 8月作型供試16品種（「常陸サマーシルキー」、「常陸サマーライト」、「常陸サマールージュ」、「常陸サマービー」、「糸子」、「すばる」、「はじめ」、「はるか」、「精こまき」、「精しまなみ」、「精しらいと」、「精しらたき」、「精そよかぜ」、「精ちぐさ」、「精はぎの」、「精はんな」）では、2か年の試験において、定植から6月中～下旬までの電照処理により、花芽分化・発達を抑制し発蕾日や採花日を調節することができる（表1、2、一部品種のみ抜粋）。

2) 電照栽培時の採花期間は、自然日長時と比較して、集約される傾向がある。16品種のうち、「精ちぐさ」、「精そよかぜ」、「すばる」は、電照栽培時の採花期間が比較的短く、開花揃いに優れる（表1、2）。

3) 「精ちぐさ」、「精そよかぜ」、「すばる」は、6/15消灯後の到花日数の年次変動が少なく、高温遅延しにくい（表3）。

4) 上記3品種のうち、「精ちぐさ」及び「精そよかぜ」は消灯から採花までの日数が6/15消灯区と6/23消灯区の間で差が小さく、消灯後に遭遇する日長の影響が少ないことから開花調節しやすい（表3）。

3. 成果の活用面・留意点

1) 令和4年作は、気象庁地点データ（笠間）において、6月下旬から7月上旬にかけて平年気温を4℃以上上回る日が8日間連続し、県内において開花遅延が発生した。

2) 令和4年作の6/23消灯区において、供試品種の一部（「常陸サマーライト」、「常陸サマービー」、「はじめ」、「精こまき」、「精しまなみ」）では消灯日時点で花芽分化が進んでいた。6月下旬以降も電照処理を継続する場合は、品種の電照反応性を考慮する必要がある。

4. 具体的データ

表1 自然日長、電照栽培での発蕾日、採花日及び採花期間の比較 (R3)

品種名	自然日長区			6/15消灯区		
	発蕾日 ¹⁾ (月/日)	採花日 ²⁾ (月/日)	採花 ³⁾ 期間	発蕾日 ¹⁾ (月/日)	採花日 ²⁾ (月/日)	採花 ³⁾ 期間
精ちぐさ (赤)	6/18	7/16	10	7/3	7/26	5
精そよかぜ (白)	6/26	7/18	9	7/8	7/31	4
すばる (黄)	6/21	7/17	8	7/10	8/5	6
(参考) 精しらたき (白)	6/17	7/13	8	7/6	8/1	6
(参考) 精こまき (黄)	6/11	7/8	9	7/6	8/2	6
供試16品種平均	6/21	7/17	9.0	7/6	8/1	6.4

表2 自然日長、電照栽培での採花日及び採花期間の比較 (R4)

品種名	自然日長区		6/15消灯区		6/23消灯区	
	採花日 ²⁾ (月/日)	採花 ³⁾ 期間	採花日 ²⁾ (月/日)	採花 ³⁾ 期間	採花日 ²⁾ (月/日)	採花 ³⁾ 期間
精ちぐさ	7/14	12	7/27	4	8/6	7
精そよかぜ	7/29	9	8/2	4	8/8	5
すばる	7/23	12	8/5	5	8/10	4
(参考) 精しらたき	7/14	10	8/6	10	8/13	5
(参考) 精こまき	7/13	12	8/8	7	8/17	10
供試16品種平均	7/21	12.4	8/5	6.9	8/12	5.9

表1、2共通

1) 発生した全茎の50%の発蕾が肉眼で確認できた日とした

2) 「改訂版花の切り前」(1994年)に記載の“小ギク(磯の香)のステージ2”に到達した日とした

3) 全体の5%採花した日から95%採花した日までの日数

表3 消灯後の到花日数の比較

年度・消灯日	消灯後の到花日数					
	精ちぐさ (差)	精そよかぜ (差)	すばる (差)	(参) 精しらたき (差)	(参) 精こまき (差)	
R 3 6/15消灯	41 } 2	46 } 2	51 } 1	47 } 6	48 } 7	
R 4 6/15消灯	43 } 2	48 } 2	52 } 4	53 } 2	55 } 0	
6/23消灯	45 } 2	46 } 2	48 } 4	51 } 2	55 } 0	

栽培概要：4/26、27 定植・5/6 摘心 (R3)、4/25 定植・5/2 摘心 (R4)

株間 10cm、条間 30cm の 2 条植え

電照は定植から 75W 白熱電球を用い、高さ 1.5m、幅 2.0m×1.6m の間隔で 0:00～4:00 (後夜半) の暗期中断を行った

1 区 10 株 30 茎 2 連制 (自然日長区)、1 連制 (6/15 消灯区・6/23 消灯区)

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

小ギク経営向上のための物日需要に対する省力的栽培・出荷調整技術の開発・令和3年～令和6年度・花き研究室